

クラスター	生体機能系クラスター			
授業科目名	循環器学・実習			
担当者名	責任者	渡邊 博之	分担者	寺田 健
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	講義		実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	2025年10月～2026年3月(日程の詳細は応相談)			
開講曜日・時間	開講曜日は科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します。開講時間18:00～21:00			

授業の概要・到達目標

授業の目的:循環器的疾患の病態の理解, および循環器研究を進めるうえで必要となる, 知識や技能について学ぶことを目的とする。

授業の到達目標:循環器疾患に関する基礎的研究および臨床研究を遂行することにより, これらの疾患についてのより深い理解と洞察力を養うとともに, 循環器内科におけるリーダーとしての高い素養を身につけさせることを目標とする。

授業の概要:

1. 循環器病学の歴史, 心不全治療の変遷, 疫学, 生理, 心臓・血管の分子生物学について
2. 循環器疾患評価方法と各診断技術の差異・相対的優位性について
3. 心不全の病態生理, 分類と診断・治療, 分子メカニズム, 再生医療について
4. 不整脈発生の基礎的メカニズム, イオンチャネル, 遺伝子異常について
5. 冠血流の生理学, 動脈硬化とプラークの病理, 診断・治療について
6. 高血圧の疫学と病態生理, 診断・治療について
7. 弁膜症の原因と病態生理, 各種弁疾患の評価・治療について
8. 心筋症の定義・分類と病態生理について
9. 心血管系異常・症候をきたしうる疾患・病態について
10. 心血管病の病態に関与するシグナルネットワークについて

	講義題目 (講義内容)	担当教員	講座名 [実施場所]
1	循環器病学の基礎	渡邊 博之	循環器内科学 [講座カンファレンスルーム]
2	循環器病診断・評価のための検査	寺田 健	
3	心不全の病態とメカニズム	渡邊 博之	
4	不整脈、突然死へのアプローチ	渡邊 博之	
5	冠動脈疾患	寺田 健	
6	高血圧症	寺田 健	
7	心臓弁膜症	渡邊 博之	
8	心筋症	寺田 健	
9	心血管病に関連する疾患群	寺田 健	
10	心臓血管のシグナルネットワーク	渡邊 博之	

授業形態および成績の評価方法・基準

講義室での講義30時間+自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果, 提出したレポートの内容を考慮して行う。

問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)

渡邊 博之, hirow@doc.med.akita-u.ac.jp 寺田 健, kterata@med.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報:社会人大学院生など勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。
教科書・参考文献: Braunwald's Heart Disease, JCS Guideline, その他専門分野の文献など
自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。